

政策評価調書(28年度実績)

政策名	コミュニティを維持する移住・定住の促進	政策コード	I - 10	関係部局名	企画振興部、商工労働部、農林水産部
-----	---------------------	-------	--------	-------	-------------------

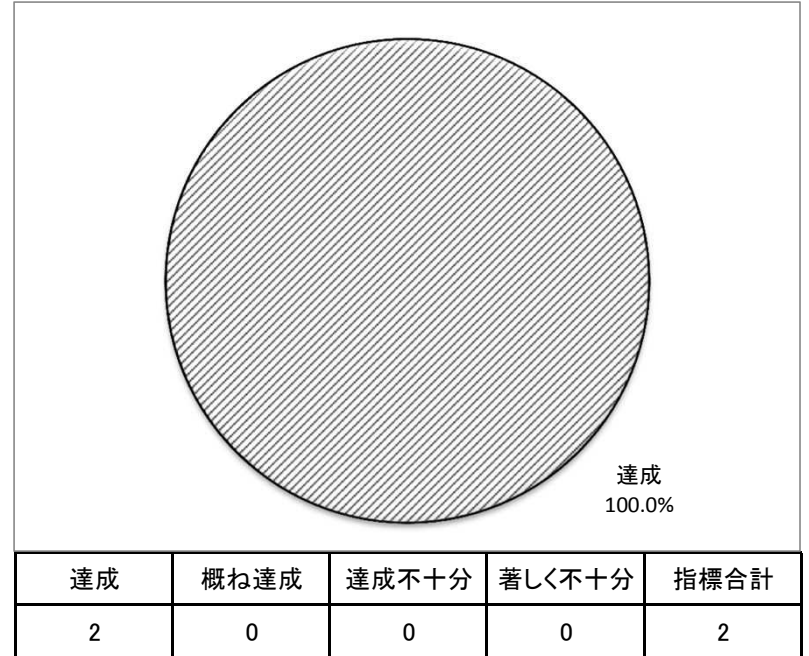
【Ⅰ. 政策の概要】

地域の居住環境や魅力の情報発信を強化するとともに、移住の受け皿となる仕事づくり、移住後の定着に向けた移住者へのフォローアップ、大学生等若者の県内定着やUIJターンの促進に取り組み、地域活力の向上を図る。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	移住・定住のための環境整備とUIJターンの促進	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

人口減少や高齢化が進展している中、都市圏住民の農山漁村志向は上昇しており、この流れを本県への移住につなげるには、引き続き地域の居住環境や魅力の情報発信を強化する必要がある。そのため、H28年度からは、移住コンシェルジュに加え、東京、大阪、福岡の県外事務所に移住サポーターを配置し、移住相談会の毎月開催や移住専門誌等の活用、移住者紹介冊子の作成などに取り組んでいる。

今後は、若者向けにはパワーブロガーによる移住体験の発信を、子育て世代向けには育児専門誌へPR記事掲載を行うとともに、特に、本県から若者や女性の転出が最も多い福岡県においては、ラジオ番組を毎週放送するなど、ターゲット別に取り組みを強化し、より効果的な情報発信が重要である。

また、居住環境では、人口減少に伴い空き家が増加しているが、その多くが利活用可能な状態であり、移住者の中には地域にあるこうした空き家への居住ニーズもあることから、空き家バンクの充実などさらなる利活用を進める必要がある。

さらに、移住の受け皿となる農林水産業、観光産業、商業・サービス業等の振興による仕事づくり、若者の県内定着やUターン就職を促すために、魅力ある雇用の場づくりのほか、学生等が本県に残るための取り組みを大学、経済界、行政が一体となって推進していく必要がある。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—